



令和4年1月27日
広域防災局

関西圏域における新型コロナウイルス感染症への対応等について

(第27回 関西広域連合 新型コロナウイルス感染症対策本部会議)

【議事】

- ・ 関西圏域における新型コロナウイルス感染症の発生状況について
- ・ 新型コロナウイルス感染症に係る検査・医療体制等について
- ・ 府県市民向け宣言（案）について

[資料]

- 別添1-1 関西圏域における新型コロナウイルス感染症の発生状況
- 別添1-2 各府県の対処方針に基づく主な措置内容
- 別添2 新型コロナウイルス感染症に係る検査・医療体制等
- 別添3 全国知事会緊急提言等
- 別添4 府県市民向け宣言（案）

- 1 関西圏域における医療提供体制等の状況
- 2 感染者の措置状況
- 3 直近の感染者数
- 4 年齢別新規感染者数
- 5 第5波と第6波の新規感染者の状況

(参考1) 関西圏域における新規感染者数の推移

(参考2) 人口10万人に対する直近1週間の感染者数

1

1 関西圏域における医療提供体制等の状況（1月23日0:00時点）

	人口	確保病床 使用率	確保病床 使用率 【重症患者】	新規陽性者 (最近1週間)	直近1週間と その前1週間 の比	PCR検査 陽性率 (最近1週間)	感染経路 不明者 割合	療養者数	入院率 ※1	重症者数	自宅療養者数及び 療養等調整中の数 の合計値
単位	千人	%	%	対人口 10万人		%	%	対人口 10万人	%	人	対人口10万人
滋賀県	1,414	54.0	0.0	205.6	2.36	19.6	15.8	251.9	6.5	0	207.6
京都府	2,583	35.6	28.7	307.5	2.79	29.1	90.6	363.7	3.3	5	334.3
大阪府	8,838	47.8	19.3	451.8	2.56	21.6	77.8	544.9	3.7	263	494.1
兵庫県	5,465	47.8	2.8	262.1	3.57	33.3	67.2	265.6	4.7	4	229.5
奈良県	1,324	56.7	20.6※2	202.4	3.30	20.5	84.3	219.3	9.9	7	146.1
和歌山県	923	72.0	0.0	170.5	2.56	22.8	34.0	185.5	26.1	0	123.3
鳥取県	553	27.4	0.0	100.8	2.76	6.2	22.0	104.6	16.4	0	64.2
徳島県	720	21.3	0.0	51.2	2.44	10.0	24.0	59.3	13.1	0	18.9
関西計	21,820	49.3	17.5	322.1	2.76	23.6	73.0	372.3	4.8	279	327.6

※1 入院率は、人口10万人あたりの療養者数が10人以上の場合に適用。

※2 奈良県の確保病床使用率は運用病床数で算出。

2

2 感染者の措置状況（1月23日0:00時点）

区 分		滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	計	%	
全療養者		3,562	9,395	48,037	14,519	2,903	1,712	581	427	81,136	100.0	
内訳	入院	重症	0	5※3	23※4	4	7	0	0	0	39	0.1
		中等症 ・軽症 ・無症状	257	304	1,762	674	279	446	95	56	3,873	4.8
	自宅療養		2,209	8,636	24,195	9,804	1,023	1,138※5	127	136	47,268	58.2
	宿泊療養		370	450	2,700	1,148	683	128	129	235	5,843	7.2
	調整中		726	0	19,357	2,889	911	0	230	0	24,113	29.7

※3 京都府は重症者について独自に人工呼吸器管理又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な方を計上。

※4 大阪府における重症者の定義は、「重症病床におけるICU入室・人工呼吸器装着・ECMO使用」のいずれかに該当する者（国定義におけるHCU等入室者は含めない）。

※5 和歌山県における自宅療養は入院待機中を含む。

3

3 直近の感染者数（公表日ベース）

区 分	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	計		
R3	8/2(月)	55	120	448	165	35	40	14	11	888	緊急事態宣言(大阪)
	8/20(金)	210	548	2,586	903	190	90	22	28	4,577	緊急事態宣言(京都・兵庫)
	9/13(月)	32	99	452	191	41	9	2	13	839	宣言延長
	10/1(金)	20	35	241	83	11	9	3	3	405	宣言解除
R4	1/18(火)	403	1,024	5,396	1,643	261	196	71	40	9,034	
	1/19(水)	381	1,202	6,101	2,511	344	269	91	45	10,944	
	1/20(木)	462	1,320	5,933	2,481	504	232	83	58	11,073	
	1/21(金)	445	1,467	6,254	2,942	488	275	85	57	12,013	
	1/22(土)	701	1,533	7,375	2,727	499	323	98	80	13,336	
	1/23(日)	620	1,497	6,219	2,685	475	308	85	69	11,958	
	1/24(月)	375	1,012	4,803	1,841	482	257	75	56	8,901	

(報道資料を基に作成)

4

4 年齢別新規感染者数（R4.1.12～R4.1.18）

区分	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	関西計	%
10歳未満	128	397	1,947	410	176	52	4	18	3,132	8.2
10代	272	992	3,693	1,278	378	132	20	40	6,805	17.8
20代	418	1,437	8,000	1,731	482	172	63	48	12,351	32.2
30代	178	528	3,262	688	181	75	31	21	4,964	13.0
40代	177	605	2,797	698	213	70	26	20	4,606	12.0
50代	116	363	2,027	521	156	40	20	16	3,259	8.5
60代	74	174	792	227	92	23	8	9	1,399	3.6
70代	31	168	552	145	70	17	2	4	989	2.6
80代	22	96	324	82	27	7	2	4	564	1.5
90代以上	22	34	127	30	4	2	0	9	228	0.6
計	1,438	4,794	23,521	5,810	1,779	590	176	189	38,297	100.0

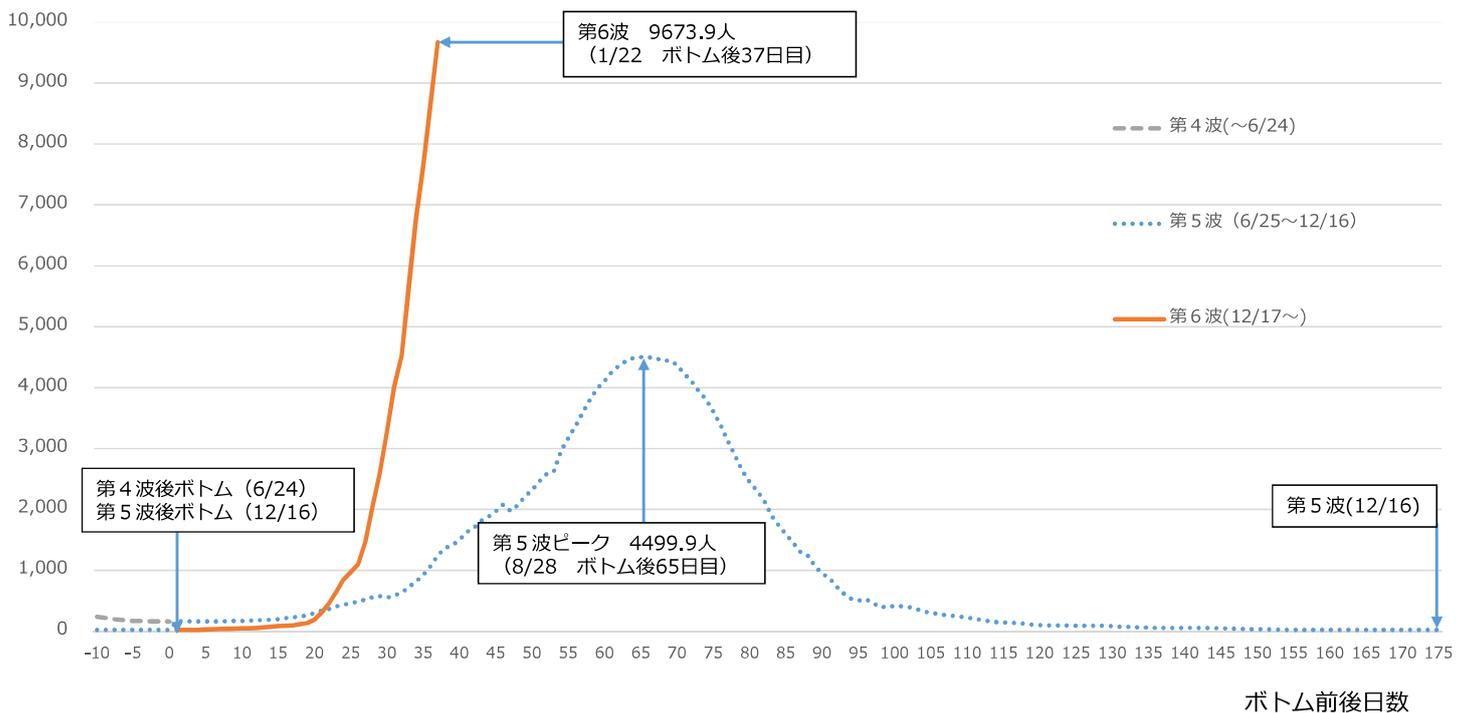
※ 年代不明・非公表等の人数は含まれない。

※ 厚労省公表資料では、個人情報保護の観点から原則4人以下の項目は非公表であるが、割合算出のため「2」として計上。
(厚生労働省公表資料を基に作成)

5

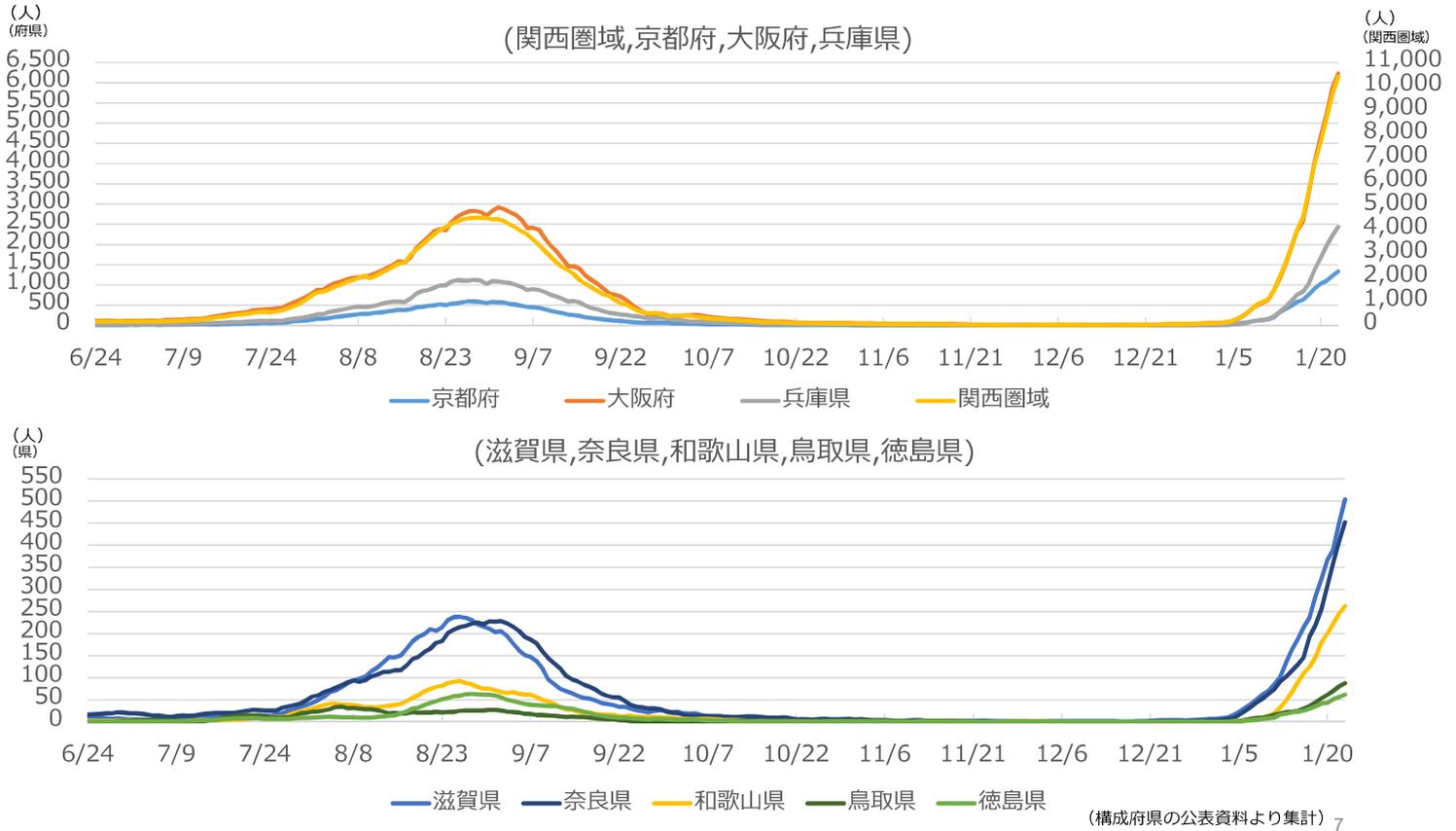
5 第5波と第6波の新規感染者の状況

(人) 1週間移動平均

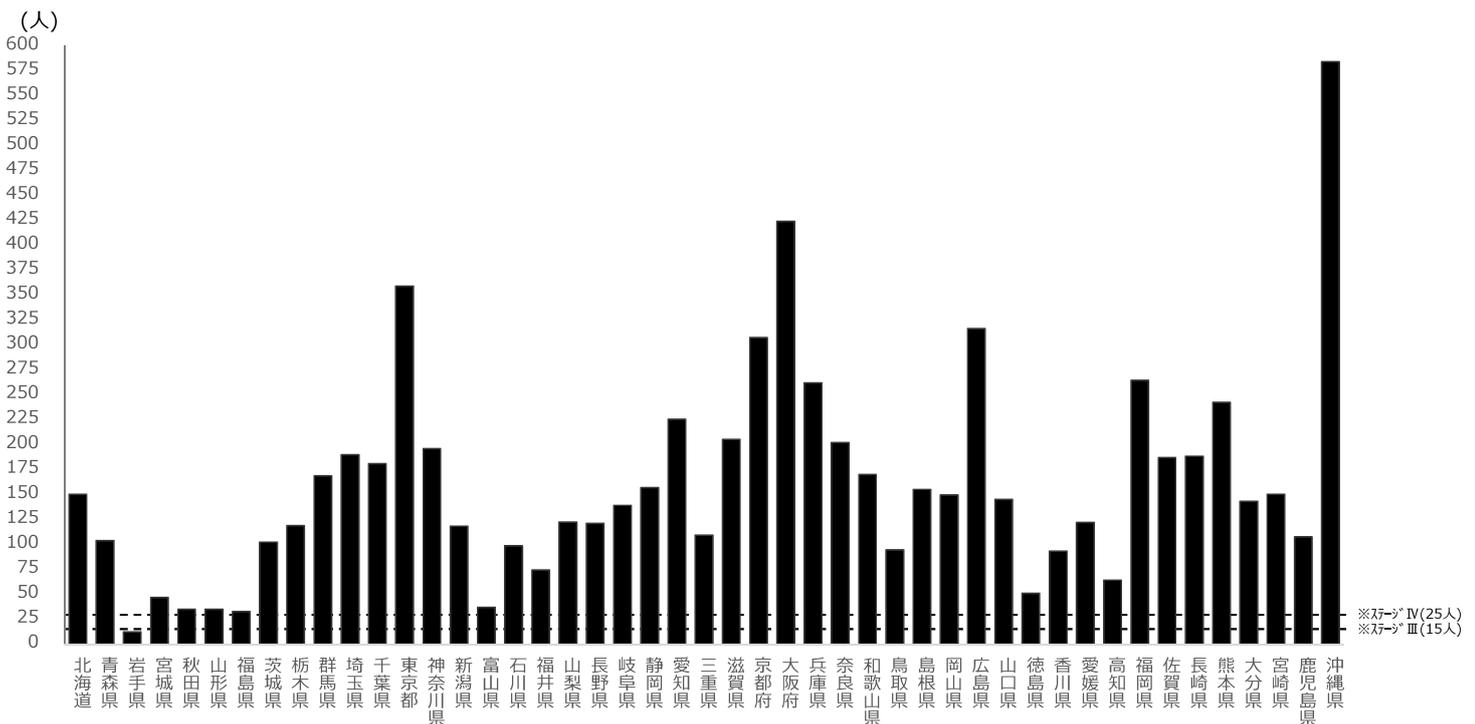


6

(参考1) 関西圏域における新規感染者数の推移 (R3.6.24～、1週間移動平均)



(参考2) 人口10万人に対する直近1週間の感染者数(1/16～1/22)



※政府分科会 従前のステージ判断基準

(報道資料を基に作成)

各府県の対処方針に基づく主な措置内容（1月27日時点）

別添 1-2

区分	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県
外出自粛	<ul style="list-style-type: none"> まん延防止等重点措置区域への不要不急の移動は控える 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出は控える 	<ul style="list-style-type: none"> 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を自粛すること 不要不急の都道府県間の移動は極力控える 	<ul style="list-style-type: none"> 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を自粛すること 営業時間短縮を要請した時間以降、飲食店にみだりに出入りしないこと 	<ul style="list-style-type: none"> 外出時には混雑している場所や時間を避けて少人数での行動を要請 店舗の店先・路上・公園等での飲酒など、感染リスクが高い行動の自粛 	<ul style="list-style-type: none"> 感染が拡大している地域への不要不急の往来は極力控える 感染拡大の恐れがある場合、混雑した場所への外出を極力控える 	<ul style="list-style-type: none"> 不要不急の外出を控える まん延防止等重点措置区域への不要不急の外出は控える 	<ul style="list-style-type: none"> 不要不急の帰省や旅行、仕事、研修など、県境をまたぐ移動は控える 特に、まん延防止等重点措置区域や感染拡大地域との間での、不要不急の往来は控える 	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県をまたぐ移動の際は、「無料の一般検査」の積極的な活用を！
イベントの開催制限	<ul style="list-style-type: none"> 国の基準に準ずる 				<ul style="list-style-type: none"> 国の基準に準ずる 県や市町村主催イベントについては、県と市町村が協議して対処 	<ul style="list-style-type: none"> 国の基準に準ずる 	<ul style="list-style-type: none"> 国の基準に準ずる ガイドラインを遵守して感染防止対策を徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 同左
施設の 使用制限	飲食店等	<ul style="list-style-type: none"> 業種別ガイドラインの遵守を徹底した上で、感染予防対策を十分に実施 会食はいつも一緒にいる人と認証店舗でマスク会食・同一テーブル4人以内・2時間までを目安とするなど感染リスクを下げる工夫を実施 	<p>[第三者認証店舗]</p> <ul style="list-style-type: none"> 同一テーブル4人以内を要請 営業時間短縮(21時まで) 酒類提供20時30分まで ただし、以下の対応も可 営業時間短縮(20時まで) 酒類提供は行わない <p>[認証店舗以外]</p> <ul style="list-style-type: none"> 同一グループ・同一テーブル4人以内要請(5人以上不可) 営業時間短縮(20時まで) 酒類提供は行わない <p>[全ての店舗]</p> <ul style="list-style-type: none"> 2時間程度以内の利用を要請 感染防止対策のための業種別ガイドライン等の遵守を要請 	<p>[第三者認証店舗]</p> <ul style="list-style-type: none"> 同一テーブル4人以内を要請 ①または② ① 営業時間短縮(21時まで) 酒類提供20時30分まで ② 営業時間短縮(20時まで) 酒類提供自粛 <p>[認証店舗以外]</p> <ul style="list-style-type: none"> 同一グループ・同一テーブル4人以内要請(5人以上不可) 営業時間短縮(20時まで) 酒類提供自粛 <p>[全ての店舗]</p> <ul style="list-style-type: none"> 2時間程度以内の利用を要請 カラオケ施設を利用する場合は、利用者の密を避ける、換気の確保等、感染対策の徹底 	<p>[第三者認証店舗]</p> <ul style="list-style-type: none"> 同一テーブル4人以内を要請 ①または② ① 営業時間短縮(21時まで) 酒類提供20時30分まで ② 営業時間短縮(20時まで) 酒類提供自粛 <p>[認証店舗以外]</p> <ul style="list-style-type: none"> 同一グループ4人以内を要請 営業時間短縮(20時まで) 酒類提供禁止 <p>[全ての店舗]</p> <ul style="list-style-type: none"> 2時間程度以内の利用を要請 カラオケ施設を利用する場合は、利用者の密を避ける、換気の確保等、感染対策の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 換気・マスク着用・飛沫防止措置をお願い 第三者認証制度の推進 業種別ガイドラインを遵守 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所で感染拡大予防ガイドラインを遵守 飲食・カラオケは気をつけて、換気にも注意 イベントや催物を行う場合は気をつけて 	<ul style="list-style-type: none"> 業種別ガイドラインの遵守を徹底した上で、感染予防対策を十分に実施 従業員への抗原定性検査を実施 とくしまコロナお知らせシステムの活用
	飲食店以外の施設 ・商業施設 ・サービス業等	<ul style="list-style-type: none"> 大規模集客施設(床面積1,000㎡超)は、人数管理、人数制限、誘導等の入場者の整理等の実施を要請 感染防止対策の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 入場者の整理等、マスク着用の周知、アクリル板設置又は利用者の適切な距離の確保等の感染防止対策の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 入場者の整理、入場者へのマスク着用の周知、飛沫防止措置等の感染対策の実施を要請 	<ul style="list-style-type: none"> 公立施設は県と市町村が協議して実施 商業施設の自己認証制度の創設 業種別ガイドラインを遵守 	<ul style="list-style-type: none"> 業種別ガイドラインの遵守を徹底した上で、感染予防対策を十分に実施 		
学校、大学等	<p>[県立学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動は県内の学校との対外試合・合同練習・発表会は可 まん延防止等重点措置の対象区域に属する学校との練習試合、合同練習等は不可 合宿や泊を伴う活動は不可 公式大会への参加は可 	<ul style="list-style-type: none"> 小・中・高等学校等においては、地域の感染拡大の状況を踏まえ、臨時休校や学級閉鎖等による必要な対応を速やかに実施 	<p>[大学等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱等の症状がある学生は、登校や活動参加を控えるよう、周知徹底 部活動や課外活動における感染リスクの高い活動(合宿等)や前後の会食の自粛 感染リスクの高い、自宅・友人宅での飲み会や多人数が集まる会食の自粛 	<p>[大学等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 対面授業の実施の際は、感染防止対策の徹底 オンライン授業の活用検討 [小・中・高等学校] 感染防止対策の徹底(不織布マスク着用を強く奨励など) 県外での活動は、不可(計画済の行事は、感染防止対策を徹底) 部活動は、公式試合関連を除き、県外での活動不可 	<ul style="list-style-type: none"> 感染防止対策を要請(特に部活動、学校行事、昼食時に留意) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校・教育現場での感染予防対策の徹底 部活動は、県内外の学校との練習試合・合同練習は禁止。全国大会・近畿大会につながる大会等は延期・中止 校内では感染予防対策を十分に講じた上で活動。移動・更衣・飲食等の部活動に付随する場面も注意 家族に発熱等の症状があれば、厳に登校しないこと 	<ul style="list-style-type: none"> 分散登校、オンライン授業等について実施 学校行事について中止又は延期 部活動について活動時間の短縮及び県内外の練習試合を中止、活動日を制限(土日不可) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校・教育現場での感染予防対策の徹底 部活動は感染対策を徹底し、合宿は必要性を慎重に判断 県外の講師招聘は、必要な場合のみ可能とし、オンラインでの指導等を活用 修学旅行等は、当該地域の感染状況等を十分に確認し慎重に判断
事業所等	<ul style="list-style-type: none"> テレワーク、時差出勤の推進 多数の職員が濃厚接触者、陽性者となった場合の業務継続方法についても確認 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅勤務(テレワーク)、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組の推進 事業継続計画の点検もしくは業務の点検 	<ul style="list-style-type: none"> テレワーク、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組を進めること 国民生活等の安定確保に不可欠な業務を行う事業者等は、事業継続計画の点検を行い、必要な業務を継続すること 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅勤務(テレワーク)取組の要請 感染防止取組の徹底及び事業継続取組の要請 業種別ガイドライン等の実践 重症化リスクのある労働者等への就業上の配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅勤務の活用、残業抑制、時差出勤等の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画の再点検及び早期策定の推進 在宅勤務を積極的に活用 	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画の再点検及び早期策定の推進 テレワークや時差出勤・交代勤務の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画の再点検 ローテーション勤務や時差出勤、テレワーク、オンライン会議を活用し、人と人との接触機会の低減の推進

新型コロナウイルス感染症に係る検査・医療体制等

令和 4 年 1 月 27 日

広域医療局

1. ワクチン接種状況

(1月23日時点)

府県市名	1回目接種		2回目接種		3回目接種	
	接種回数	接種率	接種回数	接種率	接種回数	接種率
滋賀県	1,122,791	79.13%	1,114,587	78.56%	24,523	1.73%
京都府	1,970,267	77.86%	1,954,090	77.22%	39,149	1.55%
大阪府	6,747,680	76.34%	6,691,120	75.70%	120,161	1.36%
兵庫県	4,320,604	78.22%	4,287,898	77.63%	104,362	1.89%
和歌山県	731,921	77.50%	724,925	76.76%	22,343	2.37%
鳥取県	432,507	77.68%	428,973	77.04%	12,735	2.29%
徳島県	583,473	79.39%	579,800	78.89%	18,822	2.56%
京都市	(1,075,754)	(76.80%)	(1,065,925)	(76.10%)	(22,116)	(1.58%)
大阪市	(2,032,738)	(74.19%)	(2,015,172)	(73.55%)	(38,084)	(1.39%)
堺市	(640,943)	(77.08%)	(636,132)	(76.51%)	(12,475)	(1.50%)
神戸市	(1,185,187)	(77.62%)	(1,175,533)	(76.99%)	(41,005)	(2.69%)
計	15,909,243	77.42%	15,781,393	76.80%	342,095	1.66%

(参考)

奈良県	1,067,182	79.36%	1,060,147	78.84%	19,331	1.44%
-----	-----------	--------	-----------	--------	--------	-------

(出典) ワクチン接種状況ダッシュボード (VRS)

※厚生労働省からの提供資料 (1月23日時点) より作成

2. 検査実績

[]内……人口10万人当たり検査実績

府県市名	12/20～12/26		12/27～1/2		1/3～1/9	
滋賀県	179件/日	[13件/日]	111件/日	[8件/日]	358件/日	[25件/日]
京都府	672件/日	[27件/日]	573件/日	[23件/日]	1,188件/日	[47件/日]
大阪府	3,983件/日	[45件/日]	2,874件/日	[33件/日]	6,177件/日	[70件/日]
兵庫県	1,064件/日	[19件/日]	721件/日	[13件/日]	1,746件/日	[32件/日]
和歌山県	229件/日	[24件/日]	194件/日	[21件/日]	460件/日	[49件/日]
鳥取県	175件/日	[31件/日]	176件/日	[32件/日]	657件/日	[118件/日]
徳島県	98件/日	[13件/日]	70件/日	[10件/日]	221件/日	[30件/日]
京都市	(京都府に含まれる)					
大阪市	(3,552件/日)	[130件/日]	(2,279件/日)	[83件/日]	(2,542件/日)	[93件/日]
堺市	(149件/日)	[18件/日]	(183件/日)	[22件/日]	(272件/日)	[33件/日]
神戸市	(400件/日)	[26件/日]	(318件/日)	[21件/日]	(585件/日)	[38件/日]
計	6,400件/日	[31件/日]	4,719件/日	[23件/日]	10,807件/日	[53件/日]

(参考)

奈良県	238件/日	[18件/日]	210件/日	[16件/日]	681件/日	[51件/日]
-----	--------	---------	--------	---------	--------	---------

〔出典〕厚生労働省「データからわかる－新型コロナウイルス感染症情報－」〔府県〕

各市回答データ〔市〕

令和3年1月1日住民基本台帳人口（人口10万人当たり検査実績算定）

3. 療養状況等及び入院患者受入病床数等

(1月19日時点)

府県市名	【入院】			【宿泊療養】		
	使用病床数 / 確保病床数	[使用率]	うち重症者用	使用居室数 / 確保居室数	[使用率]	
滋賀県	224床 / 487床	[46.0%]	0床 / 52床	[0.0%]	442室 / 677室	[65.3%]
京都府	268床 / 888床	[30.2%]	38床 / 171床	[22.2%]	449室 / 1,126室	[39.9%]
大阪府	1,084床 / 3,734床	[29.0%]	254床 / 1,365床	[18.6%]	2,401室 / 10,242室	[23.4%]
兵庫県	536床 / 1,417床	[37.8%]	3床 / 142床	[2.1%]	1,314室 / 2,411室	[54.5%]
和歌山県	446床 / 620床	[71.9%]	2床 / 26床	[7.7%]	73室 / 201室	[36.3%]
鳥取県	116床 / 350床	[33.1%]	0床 / 47床	[0.0%]	100室 / 364室	[27.5%]
徳島県	53床 / 263床	[20.2%]	0床 / 25床	[0.0%]	153室 / 450室	[34.0%]
計	2,727床 / 7,759床	[35.1%]	297床 / 1,828床	[16.2%]	4,932室 / 15,471室	[31.9%]

(参考)

奈良県	217床 / 503床	[43.1%]	3床 / 34床	[8.8%]	624室 / 1,083室	[57.6%]
-----	-------------	---------	----------	--------	---------------	---------

〔出典〕厚生労働省「療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」

【参考1】追加接種（3回目接種）の状況

（令和4年1月19日時点）

府県名	ワクチン配分数 (令和3年12月～令和4年3月)	接種対象者数（人） (令和3年12月～令和4年3月)		
		当初（A）	現行（B）	差（B-A）
滋賀県	703,400回分	445,000	662,000	217,000
京都府	1,274,300回分	930,000	1,200,000	270,000
大阪府	4,469,500回分	3,140,000	4,330,985	1,190,985
兵庫県	2,760,000回分	2,040,000	2,610,000	570,000
和歌山県	549,300回分	385,380	529,985	144,605
鳥取県	301,455回分	215,000	293,000	78,000
徳島県	420,100回分	314,100	407,400	93,300

（参考）

奈良県	711,200回分	518,480	677,384	158,904
-----	-----------	---------	---------	---------

「ワクチン配分数」：

令和3年12月23日付け厚生労働省健康局健康課予防接種室からの事務連絡に基づくワクチンの配分

令和4年1月14日付け厚生労働省健康局健康課予防接種室からの事務連絡に基づくワクチンの配分（3回目第5及び第6クールを除く）

「当初」：令和3年12月17日付け厚生労働省健康局健康課予防接種室からの事務連絡を反映させた接種対応者数

「現行」：令和4年1月13日付け厚生労働省健康局健康課予防接種室からの事務連絡を反映させた接種対応者数

〔出典〕各府県からの回答

【参考2-1】追加接種（3回目接種）に係る大規模接種会場の設置状況

（令和4年1月19日時点）

府県市名	設置箇所 (予定を含む)	接種対象者 (予定を含む)	各府県市における取組内容
滋賀県	2箇所	・県内に住民票がある方 ・県内の事業所または学校に通勤・通学している方	4月中旬から設置（一部前倒しを検討中） ・南部会場（Oh!Me大津テラス） 1日当たり最大900人接種可能 ・北部会場（彦根市内） 1日当たり最大700人接種可能
京都府	3箇所	京都府民 1・2回目を府内接種会場で接種された他府県の方	2月1日から接種を開始 （1）京都タワー会場（月曜日～土曜日の11時～19時） ※1月24日から、先行して医療従事者・高齢者施設従事者等対象の接種を実施 （2）綾部ルネス病院会場（水曜日・土曜日の午後） （3）京都田辺中央病院会場（土曜日の午後・日曜日の午前）
大阪府	6箇所	3回目接種を希望する府民（被接種者は18歳以上かつ2回目接種から所定の期間を経過していることが条件）	・大阪府庁 新別館南・北館接種センター 1月25日より接種開始。 1日当たり2,200人接種可能（南館：1,320人、北館：880人） ・大阪府心斎橋接種センター 2月初旬より接種開始予定。
兵庫県	2箇所	県内に住所を有する追加接種対象者 ・初回接種完了から6か月以上経過した医療従事者・高齢者 ・8か月以上経過したその他の者	・姫路会場 ・西宮会場 両会場とも、1月14日より設置。 1月31日までは、1日当たり500人（3回目接種）、100人（初回接種）接種予定。 2月1日以降は、1日当たり1,000人（3回目接種）、100人（初回接種）接種予定。
和歌山県	—	—	—
鳥取県	3箇所	接種券が届いた県民を対象	武田/モデルナ社製ワクチンを使用した県営ワクチン接種センターを県内3会場で開設。前倒し接種に対応するため、1月中に開始。 ・東部会場(新日本海新聞社5階ホール) ・中部会場(倉吉シティホテル3階会議室) ・西部会場(米子しんまち天満屋5階てんまやホール)
徳島県	5箇所	追加接種の時期が到来し、接種券を持っている方	・「アスティとくしま」他、県内3圏域毎に設置予定 2月1日から5日までで約3000人接種予定であり、今後拡大する予定。

【参考2-2】追加接種（3回目接種）に係る大規模接種会場の設置状況

（令和4年1月19日時点）

府県市名	設置箇所 (予定を含む)	接種対象者 (予定を含む)	各府県市における取組内容
京都市	集団接種会場 20箇所	接種を希望される全 ての方（接種条件を 満たす方）	<p>○ 集団接種会場</p> <p>概ね区・支所ごとに地域で拠点となる13の医療機関又は本市の公共施設等の7会場を確保して集団接種の体制を構築</p> <p>【本市の開設する公共施設等の会場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右京地域体育館（2月5日開始，2月中は6日間） 土14：00～19：00，日10：00～17：00 接種枠1,125回／日（最大） ・みやこめっせ（2月11日開始，2月中は10日間） 平日10：00～16：00，土13：00～19：00，日11：00～17：00， 接種枠1,575回／日（最大） ・京都看護大学（2月12日開始，2月中は4日間） 土13：00～19：00，日11：00～17：00， 接種枠600回／日（最大） ・国立京都国際会館，東山地域体育館，イオンモール京都桂川， 深草支所(3月開始) <p>【拠点となる13医療機関（調整中）】</p>
大阪市	集団接種会場 7箇所	医療従事者等 65歳以上の高齢者 その他の18歳以上の 市民	<p>集団接種会場（3回目接種に関して）</p> <p>○ファイザー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城見ホール <p>令和3年12月6日から3回目接種を対象に設置、最大接種能力3,000回／週（初回接種の能力として別途1,000／週を想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西淀川区役所 2月21日から設置予定、最大接種能力800回／週 <p>○武田／モデルナ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やすらぎ天空館 1月11日から3回目接種を対象に設置、最大接種能力6,500回／週 ・扇町プール 1月31日から設置予定、最大接種能力6,500回／週 ・心齋橋BIGSTEP 1月31日から設置予定、最大接種能力6,500回／週 ・OCAT 1月31日から設置予定、最大接種能力4,000回／週 ・オスカードリーム 1月31日から設置予定、最大接種能力6,500回／週
堺市	集団接種会場 7箇所	追加接種（3回目） 接種券所持者（原則 として堺市民のみ対 象）	<p>集団接種会場（7か所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①高島屋堺店5階：210回/日 7日/週 ②ソフィア・堺：300回/日 6日/週 ③ダイエー北野田店3階：300回/日 7日/週 ④イトーヨーカドー津久野店：210回/日 7日/週 ⑤泉ヶ丘センタービル3階：300回/日 7日/週 ⑥堺市産業振興センター5階：210回/日 7日/週 ⑦美原区役所（別館）：210回/日 7日/週

【参考2-3】追加接種（3回目接種）に係る大規模接種会場の設置状況

（令和4年1月19日時点）

府県市名	設置箇所 （予定を含む）	接種対象者 （予定を含む）	各府県市における取組内容
神戸市	大規模接種会場 2箇所 集団接種会場 18箇所	国の方針に基づき、 2回目接種終了後一 定期間を経過した方	【大規模接種会場】 ・ノエビアスタジアム神戸 1月29日より設置予定。 1日当たり約5,000人接種可能 ・神戸ハーバーランドセンタービル 2月5日より設置予定。 1日当たり約2,000人接種予定 【集団接種会場】 ・市役所1号館24階会場 1月29日より設置予定。 ・その他17会場 2月5日より設置予定。

（参考）

奈良県	実施の方向で 検討中	検討中	検討中
-----	---------------	-----	-----

〔出典〕各府県市からの回答

【参考3】無料検査事業(感染拡大傾向時の一般検査事業)の状況

(令和4年1月19日時点)

府県名	検査箇所				検査件数				各府県市における特徴的な取組
	医療機関	薬局	衛生検査所等	計	PCR	抗原定量	抗原定性	計	
滋賀県	1箇所	39箇所	1箇所	41箇所	495件	0件	1,459件	1,954件	1月18日 時点
京都府	—	—	—	84箇所	—	—	—	12,812件	1月19日 時点
大阪府	36箇所	259箇所	20箇所	315箇所	80,545件	566件	12,826件	93,937件	1月19日 時点
兵庫県	12箇所	193箇所	12箇所	217箇所	4,336件	0件	2,669件	7,005件	1月18日 時点
和歌山県	4箇所	34箇所	3箇所	41箇所	3,473件	0件	2,271件	5,744件	1月19日 時点
鳥取県	8箇所	20箇所	3箇所	31箇所	4,095件	0件	555件	4,650件	1月16日 時点
徳島県	27箇所	15箇所	3箇所	45箇所	1,030件	8件	1,193件	2,231件	1月16日 時点
奈良県	1箇所	38箇所	2箇所	41箇所	235件	0件	404件	639件	1月13日 時点

(参考)

(出典) 各府県からの回答

新型コロナウイルス対策に係る全国知事会の動き等

(12/27 新型コロナウイルス緊急対策本部役員会議)

別添 3-① オミクロン株の感染拡大防止に向けた緊急提言

別添 3-② オミクロン株の感染拡大防止に向けて

(1/6 新型コロナウイルス緊急対策本部役員会議)

別添 3-③ 全国的な感染再拡大の防止について

(1/7 全国知事会長等コメント)

別添 3-④ まん延防止等重点措置の適用について

(1/11 岸田 内閣総理大臣 意見交換)

○ 全国的な感染再拡大の防止について

○ まん延防止等重点措置の適用について

→別添 3-⑤ 新型コロナウイルス感染症に関する全国知事会と国との意見交換会結果概要

(1/12 第 31 回 新型コロナウイルス緊急対策本部会議)

別添 3-⑥ 全国的な感染急拡大を受けた緊急提言【抜粋】

別添 3-⑦ 全国的な感染急拡大を受けた緊急提言

別添 3-⑧ 全国的な感染急拡大を受けて

(1/14 全国知事会長等コメント)

別添 3-⑨ ワクチン追加接種前倒しに向けた配分計画提示及び濃厚接触者の待機期間短縮について

(1/17 金子 総務大臣 意見交換)

○ 全国的な感染急拡大を受けた緊急提言

○ ワクチン追加接種前倒しに向けた配分計画提示及び濃厚接触者の待機期間短縮について

(1/18 堀内 ワクチン担当大臣 意見交換)

○ 全国的な感染急拡大を受けた緊急提言

○ 全国的な感染急拡大を受けて

(1/19 後藤 厚生労働大臣 意見交換)

○ 全国的な感染急拡大を受けた緊急提言

○ 全国的な感染急拡大を受けて

(1/19 全国知事会長等コメント)

別添 3-⑩ まん延防止等重点措置区域の大幅拡大を受けて

(1/20 日本医師会との意見交換)

○ 全国的な感染急拡大を受けた緊急提言

○ 全国的な感染急拡大を受けて

○ ワクチン追加接種前倒しに向けた配分計画提示及び濃厚接触者の待機期間短縮について

○ まん延防止等重点措置区域の大幅拡大を受けて

(1/21 新型コロナウイルス緊急対策本部役員会議)

別添 3-⑪ オミクロン株の特性を踏まえた感染対策の確立について

(1/25 全国知事会長等コメント)

別添 3-⑫ まん延防止等重点措置区域の更なる追加を受けて

○1/7 第 19 回 新型インフルエンザ等対策推進会議 基本的対処方針分科会

○1/19 第 20 回 新型インフルエンザ等対策推進会議 基本的対処方針分科会

○1/25 第 21 回 新型インフルエンザ等対策推進会議 基本的対処方針分科会

オミクロン株の感染拡大防止に向けた緊急提言

新たな変異株である「オミクロン株」が世界各国・地域で広がりを見せている。先月30日に国内において初めて確認されて以降、海外からの入国者等の感染とそれに伴う濃厚接触者の増加とともに、市中感染も確認され、国内での感染拡大が懸念されるなど、予断を許さない状況にあり、今後の動向を注視していく必要がある。

全国知事会としては、国民の生命と健康を守るため、国と一体となって全力で取り組む決意である。

政府においては、年末年始も対策の手を緩めることなく、地方自治体と緊密に連携し、オミクロン株の感染拡大防止に総力をあげて取り組んでいただくよう強く求める。

1. 感染拡大防止等について

(1) オミクロン株の知見の共有

オミクロン株については、海外の知見を踏まえ、感染力や重症化のリスクなど詳細な性状を早期に分析し、現在のワクチン接種の有効性や開発中の経口薬を含む治療薬の効果について速やかに検証するとともに、その知見について地方自治体ときめ細かな情報共有を図り、国民に対し迅速かつ丁寧に情報発信すること。

また、収集された知見に基づき、オミクロン株に合わせた濃厚接触者の定義とともに、感染状況や医療提供体制など地域の実情に応じた陽性者や濃厚接触者の対応方針について早急に検討すること。

(2) 水際対策の徹底

世界各国・地域でのオミクロン株の確認等を踏まえ、外国人の新規入国の原則停止の解除は慎重に判断するとともに、国の責任において、濃厚接触者が待機する宿泊施設や移送手段を確保するなど、水際対策の強化、徹底を図ること。

また、入国時の誓約に違反した事例が散見されることから、入国後14日間の自宅や宿泊施設での待機及び他者との接触をしないこと等を求める「日本へ入国・帰国した皆さまへ『14日間の待機期間中』のルール」について、丁寧な説明・周知を行うとともに、内容を確実に遵守するよう強く要請すること。

在日米軍についても、移動制限期間中の基地内での制限強化など、水際対策を徹底すること。また、基地内において変異株スクリーニングができる体制を早急に構築するとともに、オミクロン株が確認された場合は、遅滞なく国や関係自治体に対して情報提供を行うよう強く要請すること。

(3) 検査体制等の整備

オミクロン株の迅速な検知に向けた検査体制を早急に整備すること。

また、濃厚接触者の増加に伴い、健康観察、検体採取など保健所の負担が増加していることから、国としても、感染が急速に拡大している地域に対し、保健師の派遣を積極的に行うなど、保健所業務の負担軽減に配慮すること。

PCR等検査の無料化については、自治体が必要とする体制整備に要する経費

及び検査費用を全て国が負担するとともに、検査で陽性となった場合は、速やかに医療機関を受診するよう周知徹底すること。

(4) 基本的な感染対策の徹底

ワクチン接種者であっても会話時のマスクの着用や手指消毒、体調管理、換気の徹底など基本的な感染対策の継続を国民に強く呼び掛けること。

また、これまで全国的に人の移動が活発になる時期に感染が拡大してきたことを踏まえ、冬休みや年末年始における基本的な感染対策の徹底を促すとともに、外出時には混雑する時間・場所を避け、体調が悪い場合は、帰省や旅行等を延期するなど外出・移動を控えて、早期に医療機関を受診するよう注意喚起すること。

(5) 感染状況に応じた迅速な対応

今後のオミクロン株の国内の感染の状況に応じて、水際対策とともに市中の感染対策を強化すること。なお、市中感染対策の強化に当たっては、地方と十分協議・連携しながら、感染拡大の兆しを確実に察知し、時機を逸することなく実施すること。

感染力の強いと見込まれるオミクロン株の感染を抑え込むためには、迅速な対策を講じる必要があることから、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置については、感染状況に即応して発出できるよう、国会報告等も含めた手続きの簡素化、迅速化を図り、知事の要請に応じて迅速かつ機動的に発出すること。

併せて、各都道府県に委ねられているレベル評価と、国が権限を有する特措法に基づく措置との関係性を明確にすること。

(6) ワクチン・検査パッケージ制度の再検討

ワクチン・検査パッケージ制度は、緊急事態宣言等下においても感染リスクを低減させることにより各種の行動制限の緩和を可能とする取組として重要である一方、オミクロン株の感染が国内でも確認されていることから、ワクチン・検査パッケージの活用による行動制限の緩和の在り方等について、海外におけるブレイクスルー感染事例等を踏まえ、感染を再拡大させることのないよう、専門的・医学的見地から再検討すること。

(7) 感染拡大の影響を受ける事業者への支援

感染拡大により幅広い事業者への影響が再び深化・長期化することが懸念されることから、昨今不足が見込まれる尿素水の確保も含め、地域や事業者の実情に応じた必要十分な支援を行うこと。

2. ワクチン接種の円滑な実施について

(1) 追加接種（3回目接種）の実施に向けた取組

追加接種（3回目接種）については、オミクロン株への対応も踏まえ、2回目接種の完了から8か月以上の経過を待たずに追加接種を可能とする対象者等が

示されたが、オミクロン株に対するワクチンの有効性を明らかにした上で、追加接種の必要性を分かりやすく情報発信すること。併せて、ファイザー・モデルナそれぞれの追加接種に係る副反応などを明らかにし、モデルナの接種についての国民の不安を解消すること。特に交差接種の有効性や安全性も含め、国民が納得して接種できるよう、正確かつ具体的で分かりやすい情報発信を積極的に行い、早期の接種を広く呼びかけること。

4月以降の追加接種に必要となるワクチンを確実に供給するとともに、具体的な配分量、配送スケジュールを早期に示すこと。また、接種券なしで接種する際の事務手続きの簡素化など、接種関係者の負担に配慮した新たな事務処理方法を示すこと。加えて、これらの点について実務を担う自治体の意見を踏まえながら早急に検討を進め、見解を示すこと。

(2) 12歳未満の子供への接種の在り方の検討

5歳以上11歳以下の小児へのワクチン接種を実施する場合、国内では12歳未満の感染による死亡例はなく、重症化リスクも低いと言われていることから、先行しているアメリカでの知見も踏まえ、ワクチンの効果や副反応について、より分かりやすく丁寧な情報発信を行うこと。接種を受ける努力義務及び自治体の勧奨義務については、慎重に検討を行うこと。

小規模自治体では小児科医が少ないことや対象となる子供の人数が少ないことから、複数の市区町村で接種体制を構築する場合の住所地外接種届の省略など、市区町村の負担軽減を図ること。追加接種のスケジュールと重なることや、システム改修をはじめ準備期間が必要となることから、早期の情報提供など、できる限り市区町村や医療機関の負担軽減を図ること。

また、小児科が不足する地域において、小児科以外の医療機関での接種を円滑に進めるため、医療機関向けに小児への筋肉注射に係る留意事項や、副反応時の応急対応など、大人とは対応が異なる点に係る詳細な情報提供を行うこと。併せて、接種に係る全国小児科医会への協力要請を行うとともに、緊急時や専門的な対応が必要な場合の国公立病院や大学病院等への協力要請を行うこと。さらに、大人に比べて予診など接種に多くの時間を要することを踏まえた財政措置の充実など、できる限りの支援を行うこと。

令和3年12月27日

全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部

本部長	鳥取県知事	平井 伸治
本部長代行・副本部長	福島県知事	内堀 雅雄
副本部長	京都府知事	西脇 隆俊
副本部長	神奈川県知事	黒岩 祐治
ワクチンチームリーダー	高知県知事	濱田 省司
幹事長	福井県知事	杉本 達治
本部員	41都道府県知事	

オミクロン株の感染拡大防止に向けて

新たな変異株であるオミクロン株の感染が、世界各国で広がっており、今後、国内での感染拡大も懸念されます。

国民の皆様におかれては、オミクロン株による感染の再拡大を引き起こさないよう、引き続き、基本的な感染対策の徹底に、ご理解とご協力をお願いします。

－ 基本的な感染対策の継続をお願いします！ －

- ワクチンを接種した方も含め、飛沫防止効果の高い不織布マスク等を正しく着用し、こまめな手洗い、手指消毒、体調管理、三密回避、換気といった基本的な感染対策を徹底しましょう。
- 冬休みや年末年始の帰省や旅行等は慎重に検討いただき、帰省等をする場合にも、基本的な感染対策を徹底し、時期の分散や事前のPCR等検査の活用を含め、「うつさない」、「うつらない」行動を心掛けましょう。
- 飲食時は感染リスクが高まります。外食は、都道府県の認証等を受けたお店をご利用いただき、食事中であっても会話をする際はマスクを着用するとともに、自宅での会食を含め、家族、友人など親しい間柄であっても、感染対策を徹底しましょう。
- 発熱・咳など少しでも体調が悪い場合は、外出・移動を控え、医療機関に電話した上で、すぐに受診しましょう。

全国知事会は、感染再拡大の防止に全力で取り組みます。

- 水際対策の徹底と監視体制の早期整備に向けて、国に対し、積極的な取組を働き掛けていきます。
- 保健所機能を強化し、積極的疫学調査を徹底することで、濃厚接触者の早期発見、感染者の早期治療につなげ、感染拡大を防ぎます。
- ワクチンの追加接種に向けて、国と連携し、希望する全ての方が円滑に接種できる体制を整備します。
- 感染が再拡大した場合に備えて、病床の更なる確保や宿泊療養施設の充実、医療人材の確保など、医療提供体制の整備・強化に取り組みます。

令和3年12月27日

全 国 知 事 会

全国的な感染再拡大の防止について

新型コロナウイルス感染症については、昨年12月下旬以降、全国の新規感染者数が増加傾向にある。特に、従来株と比べて感染力の強い「オミクロン株」の市中感染が全国各地で確認され、一部地域では加速度的に感染が拡大し、医療や保健所業務の逼迫に繋がる危機的な段階に突入しつつある。

全国知事会は、国民の生命と健康を守るため、国と一体となって、予防、検査、早期治療の強化に全力で取り組む決意である。

政府におかれては、オミクロン株の重症化リスクやワクチン・治療薬の有効性などを早期に分析し、地方と緊密に連携しながら、感染再拡大の防止に総力を挙げて取り組んでいただくよう、以下の項目について強く求める。

- 全国的な感染再拡大を防止するためには、国内の感染状況に応じた迅速な対応が求められるため、米軍基地を含め、水際対策を維持しながら、時機を逸することなく市中の感染対策をあらゆる手段を投じて強化するとともに、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置について、知事の要請に応じて迅速かつ機動的に発出すること。

併せて、休業要請や時短要請に係る協力金については、認証店・非認証店による単価差を見直すとともに、確実に財源措置を講じること。

- 在日米軍基地について、出発地検査の厳守や移動制限期間中の制限強化など、水際対策を徹底するとともに、基地内において変異株スクリーニングができる体制を早急に構築するなど、地域の不安を払拭する実効性ある対応について、政府から強く要請すること。

- ワクチンの追加接種を推進するため、国民に対し、引き続き、交差接種の有効性・安全性等をわかりやすく丁寧に説明し、ワクチンを確実に供給するとともに、自治体の体制整備を積極的に支援すること。

- 感染者の早期囲い込みを図るため、オミクロン株の迅速な検知に向けた検査体制を早急に整備するとともに、感染拡大が懸念される地域での無料のPCR等検査については、検査に要する費用を全て国が負担するなど、自治体を積極的に支援すること。
- ワクチン・検査パッケージ制度については、ワクチンを接種しているにもかかわらず、感染リスクが高いとされるオミクロン株の特性を踏まえ、専門的・医学的見地から取扱いを見直すこと。

令和4年1月6日

全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部

本部長・全国知事会会長	鳥取県知事	平井 伸治
本部長代行・副本部長	福島県知事	内堀 雅雄
副本部長	京都府知事	西脇 隆俊
副本部長	神奈川県知事	黒岩 祐治
ワクチンチームリーダー	高知県知事	濱田 省司
幹事長	福井県知事	杉本 達治

まん延防止等重点措置の適用について

新型コロナウイルス感染症については、全国の新規感染者数が急増しており、特に、従来株と比べて感染力が強い「オミクロン株」の市中感染が全国各地で確認され、一部地域では加速度的に感染が拡大し、医療や保健所業務の逼迫に繋がる危機的な段階に突入しつつある。

本日、政府対策本部において、全国知事会と広島県、山口県、沖縄県の要請を踏まえ、1月9日から3県に「まん延防止等重点措置」が適用されることとなったものであり、迅速にご対応いただいたことに、深く感謝申し上げます。

年末年始における全国的な人の移動等の影響により、今後、各地での感染拡大が懸念され、オミクロン株の特性から日を追って感染が急拡大する実情に即し、3県以外でも必要になることも想定されるため、引き続き、知事の要請により「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の発出等、迅速かつ機動的に対処されるよう強く求める。

全国知事会としても、各知事がオミクロン株による感染拡大の危機感を共有し、国と一体となって、予防、検査、早期治療に全力で取り組む決意である。政府におかれては、オミクロン株の詳細な性状を早期に分析するとともに、地方と緊密に連携の上、水際対策を維持しながら、市中の感染対策をあらゆる手段を投じて強化し、感染拡大の防止に総力を挙げて取り組んでいただくようお願いする。

令和4年1月7日

全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部

本部長・全国知事会会長 鳥取県知事 平井 伸治

本部長代行

福島県知事 内堀 雅雄

